



呉市役所
子育て施設課
0823-25-3144

10月のほけんだよ!

令和3年 第251号

10月10日は「目の愛護デー」、10月は「目の愛護月間」

この機会に目の健康について考えてみましょう。



生まれたときは明暗を感じる程度の子どもの視力ですが、日々発達していき視力が1.0位になるのが6歳頃といわれています。

目は大切な器官ですが、子どもは目の病気になったり、視力が低下していても、ほとんどの場合、自分からその症状を訴えることはありません。

また、**子どもは手で目をこすることも多く、目の感染症などにも注意が必要です。**戸外から戻ったら必ず手洗いをするなど、まわりの大人が気をつけ、いつも健康な目でいられるようにしましょう。

目をこする原因には**病気が隠れているかも!**

目をこする原因には、結膜炎や角膜炎、睫毛内反症(しょうもうないはんしょう)などがあります。

睫毛内反症とは、まつ毛が内側を常に向いて「逆まつ毛」の状態になっていることをいいます。内側を向いているまつ毛が黒目(角膜)に触れ、刺激や黒目が傷つくことで涙が出る、目がしみる、眩しがるといった症状が現れる病気です。

上下のまつ毛、どちらにも起こる可能性があり、同時に左右両目に起こる場合もあります。生まれつきが多く、成長とともに自然に治ることも多いのですが、治らない場合は手術でまつ毛を外側に向かせることにより改善させることができます。

目も**新型コロナ**の入り口です!

口や鼻を入口に体の中に入ってくる、**新型コロナウイルス**ですが、**目から感染することもあります。**感染している人の咳やくしゃみのしぶきに含まれるウイルスが目の表面の粘膜(結膜)についたり、ウイルスのついた手で目を触ったりこすったりすると感染する可能性があります。

大切なのは手洗いと目をこすらないことです。

子どもが目の症状を訴えるのは難しいので、周囲の大人が早めに見つけてあげて気になる様子があれば早めに眼科を受診しましょう。

子どもの目の成長

<p>生後1~4か月</p> <p>* ものが見える *</p> <p>生後1・2か月は、動くものが見える程度、3・4か月で見えるようになります。</p>	<p>3歳</p> <p>* 平均視力が0.8に *</p> <p>発育と共に目も成長。平均視力は1歳で約0.3、2歳で約0.6。</p>
<p>4~6歳</p> <p>* 視力が1.0以上に *</p> <p>4歳で75%、5歳で85%、6歳でほぼ100%</p>	<p>6・7歳</p> <p>* 目の機能が完成 *</p> <p>7歳以降、成長期に眼球が長くなり、近視が進む場合がある。</p>

ほけんだよりは、くれ子育てねっとの子育て支援サービスでもご覧になることができます。
URL <http://www.kure-kosodate.com/>